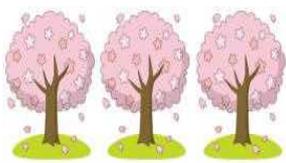


高取小だより

令和6年7月19日



# 三本桜

第15号

ふかく考える子    あたたかみのある子    がんばりのきく子  
7月の目標：規則正しい生活をしよう

## 懇談会、ありがとうございました

ご多用の中をご来校いただき、ありがとうございました。限られた時間の中では、十分な話ができなかったかもしれません。何かありましたら、担任や学年主任までご連絡ください。次回は、12月16日（月）～19日（木）に実施を予定しています。よろしくお願いします。



## 待ちに待った夏休み！

子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。保護者並びに地域の皆様方には、これまで高取小学校の教育活動に対し、温かいご支援とご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

42日間＝1008時間という時間を、上手に利用し、様々な体験から多くを学んだり、これまでの学習の遅れを取り返す努力をしたり、自分の目標に向け自らを鍛えるなど有効に使うことを期待しています。まさに、「チャレンジ夏休み」です。

何でも吸収でき、成長著しい今だからこそやれること、やるべきことがあります。子どもたちが有意義な夏休みが過ごせますように願ってやみません。

学校を離れ家庭や地域で生活することが多くなります。子どもたちが安全で無事に9月を迎えられますよう見守りをよろしくお願いします。



## 全校遊び

7月3日（水）、児童会主催の全校遊びをしました。1年生から6年生が、高取小学校にちなんだクイズに挑みました。高取小学校の在籍児童数（519人）や現在の学級数（20学級）などが出題されました。6年生がリーダーシップを発揮して、お兄さん、お姉さんとして活躍していました。およそ30分ほどでしたが、とても楽しい時間となりました。



## 学校関係者評価委員会

7月4日（木）に学校関係者評価委員会を行いました。地域の方、保護者、高取小学校の子どもたちに関わってくださっている方々の中からお願いした方にご参加いただきました。高取小学校の学校経営について説明させていただき、その後、校内巡りをしながら、授業参観をしていただきました。よりよい高取小学校にしていくために、建設的なご意見を多数いただきました。高取小学校の大切な応援団として支えてくださることに心より感謝します。



## 人間は考える葦である

パスカルは、「人間は一本の葦にすぎない。自然の中で最も弱いものである。しかし、それは考える葦である」と言っています。

アメリカの未来学者が「2045年にシンギュラリティ（AIが人間の知能を超越した場合、AI自身がAIを開発するという未来）が到来する」と予測しました。しかし、その一方、現段階ではAIではなく人間にしかできないこととして、コミュニケーション能力と絶えず学びその場で適応する能力があると言っている人もいます。



例えば、「〇〇さん、なんだか体調が悪そうだな」と思えば、「顔色が悪いですが、大丈夫ですか？」「この前のイベント、楽しかったですね。また行きましょう！」など、過去の話や体調を気遣う話などは、AIにはできません。柔軟な対応力や理解力は、コミュニケーション能力から生まれます。

AIが苦手なことこそ、人間が力を発揮するところです。具体的には、「考えることや質問すること」「想定外のことに対応すること」「電話対応をすること」などが挙げられています。これらは、考えることそのものであり、考えることを必要とする行為です。パスカルが言っている、臨機応変に考えたり、人の気持ちを察したりということは、人にしかできない偉大なことなのです。子どもたちには、多くの知識を得るというインプットだけでなく、表現することや発信することといったアウトプットができるように、自分で考えること判断をすることを繰り返してほしいと思います。将来の予測が困難な世の中ですが、思考停止にならず、自分で考えて、判断できる人になってほしいと願っています。